

報道関係者 各位

島根県民会館インクルーシブシアター・プロジェクト

耳を澄まして観る、映像のない映画

「音の映画-Our Sounds」上映&トークセッション開催について

来る6月25日島根県民会館にて、「音の映画-Our Sounds」上映&トークセッションを開催いたします。この映画は、音楽家/遊鼓奏者/アーティストのハブヒロシ氏が、岡山県高梁市の日本語教室で学ぶ外国人技能実習生ら18人とハブヒロシさんたちが共にひとつの歌をつくりあげる様子を記録した、「映像のない音だけの映画」です。

島根県民会館では障がいのある人の文化芸術への参加機会創出のため、令和元(2019)年からインクルーシブシアター・プロジェクトをスタートし、目の不自由な人たちとのダンス活動や障がいのある方の舞台芸術の鑑賞機会において鑑賞をサポートする方法を工夫して実施してきました。今回の映画では、鑑賞サポートで情報を足すのではなく、映像をなくすという引き算の方法により、目の不自由な人と同じ条件で鑑賞できる貴重な機会であると考え上映し、鑑賞後にトークセッションで対話を行います。

つきましては、報道関係者の皆様には、上映会当日のご取材をよろしくお願いいたします。

記

【「音の映画-Our Sounds」上映&トークセッション】

日時:6月25日(土) 上映 14時~15時/トークセッション 15時~15時45分(予定)

会場:島根県民会館 2F 多目的ホール 定員:30名

上映後にハブヒロシ監督、振付家・ダンサーの田畑真希氏と来場者を交えたトークセッションあり

【作品情報】

「音の映画-Our Sounds」 2022年/55分/日本/ドキュメンタリー

岡山県高梁市の日本語教室に集まったメンバーたちの物語。コロナ禍で失われつつあった豊かな生活を取り戻すために、私たちは共に一つの歌を作りました。外国人と日本人という属性を越えた、「いきもの」としての出会い。この映画は、そのささやかな出会いの航路を記録した、音だけのセルフドキュメンタリー映画です。映像はありません。山里にも訪れているグローバル化の波。そして、その境界で揺らぐ小さなくぼみ。私たちは、そこから生まれる営み、対話、風景、響きを見つめました。この映画は、観てくれた人たちとの出会いを通して新たな対話が生まれることで、初めて動き出すのだと思います。目を閉じて耳を澄まし、私たちと一緒に旅をしてくれたら嬉しいです。(ハブヒロシ)

ハブヒロシ監督のインタビューも可能です。

ご取材いただける場合はできるだけ事前にご連絡をお願いいたします。

